



TIMES

クサマ工業通信



ご挨拶

初春の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は毎年正月に新聞を読みながら今年の景気を予想しているのですがその中で AI や DX といった言葉が多く出てきました。

そこで思いつきで今話題の ChatGPT に 2025 年の製造業の中小企業の景気予想をしてもらいました。結果は以下の通りでした。予想の最後には『成長要因と課題が交錯するため、持続的な成長は企業努力に左右される』とまとめられていました。景気を気にするのではなく、自分達の努力で道を切り開いていくのだ！と AI に気づかせてもらった正月でした。（草間）

景気予想:「回復の兆しはあるが一部リスクが存在します」

根拠一覧:

1. 世界経済の不確実性（高インフレ、景気後退リスク）
2. 政府支援策拡充（中小企業向け補助金や政策融資）
3. DX 推進（AI、IT などの導入による生産性向上）
4. 人手不足の深刻化（少子高齢化により労働力確保が課題）
5. 資材コスト高騰（原材料価格高騰による収益圧迫）

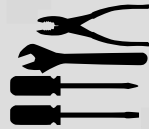


おまけ

ChatGPT に 2030 年のクサマ工業イメージイラストを描いてもらいました。ツッコミどころも多いですが、こちらが与えた文字情報だけでこれだけのものを数十秒で作ってしまうって AI の進化はすごいですね



製造部のIT化



当社では製造部でも IT 化に取り組み始めています。これまで大きな課題が 2 点ありました。1 点目は工具管理です。特殊な工具については購入した本人は把握していますが、他の社員まで共有されていない場合もあり、工具の有無の確認に時間が取られたり、場合によっては二重で購入してしまうこともありました。

2 点目は加工段取書の管理です。弊社は単品小ロット品の加工が中心のため取り扱い製品数がとても多いです。これまでは社員一人一人が加工段取書ノートを保有しており、必要に応じて社員同士でノートをコピー



したりしていましたが、仕様変更などにより段取りやプログラムを変更した場合に古い段取書ノートで加工しようとして不具合が生じることが多々ありました。そこで半年ほど前から製造部全社員が iPad を保有し、工具と加工段取書を共有データとして保存して iPad で管理する取り組みをはじめました。まだまだ試行錯誤しながらの段階ではありますが、若手社員が中心となりアイデアを出し合って仕組みづくりをしてくれています。ChatGPT の予想でもありましたが、IT 化を進めて生産性を向上し、持続的な成長に繋げていきたいと考えています。（草間）